



学校だより

令和 2年 2月21日
第29号
四日市市立小山田小学校

2月も残すところ1週間となりましたが、今週はこの地方でも積雪が心配された日もあり、まだまだ厳しい寒さが続いています。学校では来週には「6年生を送る会」、3月に入ると、なかよしタイムでのお別れ会、6年生の「祝膳会」と続き、少しずつ年度末の忙しさとともに、寂しさが感じられる時期となってきました。

17日(月)には、市内での事件による緊急対応に関わり、多くの保護者・地域の皆さまに子どもたちの下校を見守っていただきました。改めて皆様のご理解・ご協力に心より感謝いたします。ありがとうございました。

6年生 薬物乱用防止教室

7日(金)5限目に、講師として南警察署少年補導員の山路さんにお越しいただき、6年生対象に『薬物乱用防止教室』をしていただきました。覚せい剤や麻薬はもちろん、危険ドラッグと呼ばれる薬物は、たとえ1回摂取するだけでも生命に危険を及ぼす恐れのあること、興奮・抑制作用や幻覚作用等の脳への障害を及ぼすだけでなく、極端な運動能力の低下から交通事故等により自分だけでなく周りの人の生命も危険にさらすこと、依存性と耐性が強いことから、もし止められたとしても少しの刺激で幻覚が起こったり、乱用を繰り返してしまったりする可能性の強いこと等、薬物の恐ろしさと身近に存在していることをスライド画像と山路さんが扱った実際の少年犯罪事例をまじえて大変分かりやすくお話していただきました。最後に、友人や先輩などの身近な人から自分が誘われたらどのように断るかを考えました。近年、スマホ・ネット等の普及に伴い青少年の薬物乱用に係る事件が増えています。子どもたちには、たとえ今後、誘われるようなことがあっても「はっきり、きっぱり断れる」ようになってほしいと思います。



<児童の感想から>

- ・今日習った事を忘れずに、人生は一度なので、薬物は絶対に使いません。
- ・もし誘われたら、「本当にいいいけません。そういうのはいいです」と断りたい。
- ・16歳の女の子の話聞いて、薬物は改めてこわいなと思いました。薬を使うと、やめたくてもやめられなくなる、やめても少しの刺激をうけると幻覚が再びおこるから、こんなことはダメだといろんな人に深く知ってもらいたいなと思いました。

全校で考えた人権集会！

12日(水)5限目に『人権集会』を行いました。12月に開催された中学校区人権フォーラムで扱われた教材『わたしのものさし』を児童会運営委員と代表委員がクイズ形式で以下の4問を出題し、全校児童で学習しました。

- ①「運動会のお弁当は女の人が作らなければならない」
- ②「いじめはぜったいにしてはいけない」
- ③「友だちの悪口を言っている人を見たらその人に伝える」

②については、ほぼ全員が「そう思う」と答えていましたが、残念ながら学校生活の中で、誰かを避けたり誰かの悪口(陰口)を言ったりしていることがないとは言えません。①と③は、意見が分かれていましたが、各自が自分にできることはないかを考えるきっかけになりました。最後に、児童会の子どもたちから「いじめのない小山田小にしよう」、「自分の考えを伝えよう」と全校に呼びかけました。終了後には、どの学年も教室で人権集会の振り返りをしていました。教室など身近な生活で、誰かに嫌な思いをさせていないか、辛い思いをさせていないかを一人ひとりが自分のこととして、振り返る機会となりました。



全校で新記録更新 なわとびタイム終了！

1月17日（金）に始まった「なわとびタイム」が2月14日（金）の5回目で終了しました。当初の目標は、全校で700回以上でしたが、2回目で984回の記録が出たため、3回目から1000回に目標を修正しました。1回目は6年生が学級閉鎖であったり、4回目は5年生が社会見学であったりしたため記録が伸びませんでしたが、3回目には、1018回の高記録が出たため、さらに目標を1100回に修正しました。そして最終日は1174回（昨年度の最高記録より100回以上更新）と見事に目標を達成しました。毎回、どの学年も記録を伸ばすために話し合ったり作戦を練ったりして工夫していました。寒さの中、クラスで声を合わせて跳んだ数を数えるなどして、協力し合って笑顔で取り組む子どもたちの姿に感心しました。また毎回2回の計測後にも、クラスでなわとびを続けたり、異学年の児童が男女一緒にドッチボールをしたりする姿も見られ、微笑ましく思いました。

＜写真は左から1・4・5年生＞



3年生社会見学 博物館に行ってきました！

18日（火）に、3年生が社会科の「昔の道具と人々の暮らし」の学習の一環として、市立博物館で行われている「昭和の暮らし展」に行ってきました。展示室では、まず担任の先生に昭和初期の紙芝居を読んでもらったり、体験コーナーで昔の黒電話や洗濯板を興味深く触ったりしていました。続いて電気や水道・ガスが普及する前と後の居間と台所を再現した展示では、その道具や暮らしの違いについて学習しました。最後に、昭和30～40年代を再現した小学校の教室で、博物館の方から今の学校生活との違いについてのお話を聞きました。子どもたちは、博物館の職員の方やボランティアさんの話をしっかり聞いたり、展示品を熱心に見学したりすることができ、職員の方からも「大変うれしかったです」との言葉をいただきました。

3年生では、博物館での本物に出会う貴重な体験から、当時実際に生活していた人々はどんな思いや願いをもっていたのかをこれからの社会科で学んでいきます。

風邪等による欠席が心配されましたが、さすが普段から元気な3年生、館内では全員が予防のためのマスクを着用しつつも元気に参加することができました。



＜お知らせ＞

「6年生を送る会」について 2月28日（金）9:00～11:00

卒業を控えた6年生に感謝の気持ちをこめて、1～5年生が出し物を発表します。6年生の発表もあります。参観を希望される方は、以下の点をご了承ください。

- 全校児童の発表のため、見学場所は**体育館入り口付近**に限ります。保護者用座席はご用意できません。
- 児童の発表は、最後まで**静かに参観**してください。私語は控え、携帯電話は電源はお切りになるか、マナーモードにしてください。